

地域における協働教育の土台を形成する

市町村名		推進組織名			関係学校名						
石巻市		各学区協働教育推進協議会 (H30年度 14小・中学校区に設置)			蛇田小, 貞山小, 万石浦小, 渡波中, 東浜小, 大谷地小, 北上小, 青葉中, 牡鹿中, 開北小, 大街道小, 雄勝小, 中津山第一小, 石巻中						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H28	石巻市教育委員会生涯学習課		140学級	3,012人					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		0人	0人	10人	14人	0人					
活動目標		学校・地域・家庭が協働し、社会の中でたくましく生きる子供たちを地域全体ではぐくむ教育の支援を通して、子供たちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下などの諸問題の解決を促すと共に家庭・地域の教育力の向上と学校教育の更なる充実を図る。									
【連絡先】		所在地			電話番号	FAX番号					
		〒986-8501 石巻市穀町14-1			0225-95-1111	0225-22-5160					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	islstudy@city.ishinomaki.lg.jp						
石巻市家庭教育支援チーム, 石巻市社会福祉協議会, 石巻市子ども会育成会, NPO法人まなびのたねネットワーク, NPO法人モリウミアスほか				URL	http://www.city.ishinomaki.lg.jp/						
石巻市の概要											
人口	144,664人	割合	65歳以上	32.2%	面積	554.58km ²	学校数	幼・保・こ	5園	産業等	水産業, 商業, 造船業, 製造業
			15~64歳	56.9%				小学校	33校		
			0~14歳	10.9%				中学校	19校		

これまでの経過

平成18年度から平成27年度までに、市内35校全ての小学校において、コラボスクール推進事業を実施した。平成28年度からは「協働教育推進事業」と名称を変更し、単年ではなく、原則、3年間継続して実施することとし、地域における協働教育の土台を形成することとしている。平成30年度は、平成28年度から実施している4校、平成29年度から実施している5校に、新たに5校増やし、計14校で実施している。

地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
安全見守り, 学習支援, 読み聞かせ, 地域理解, 学校行事支援, 環境整備, 防災活動, 職場体験・キャリア教育, 自然体験, 世代間交流, あいさつ運動その他	子育てサロン, 家庭教育支援チームによる託児支援, 各種親の学び講座	石巻地区の地域理解・体験学習(歴史探訪, 自然体験, 物作り, 交流体験ほか)	市内3地区で実施 伝統遊び, 農業体験, 創作活動などコーディネーターを中心としプログラムを作成し活動

工夫している点

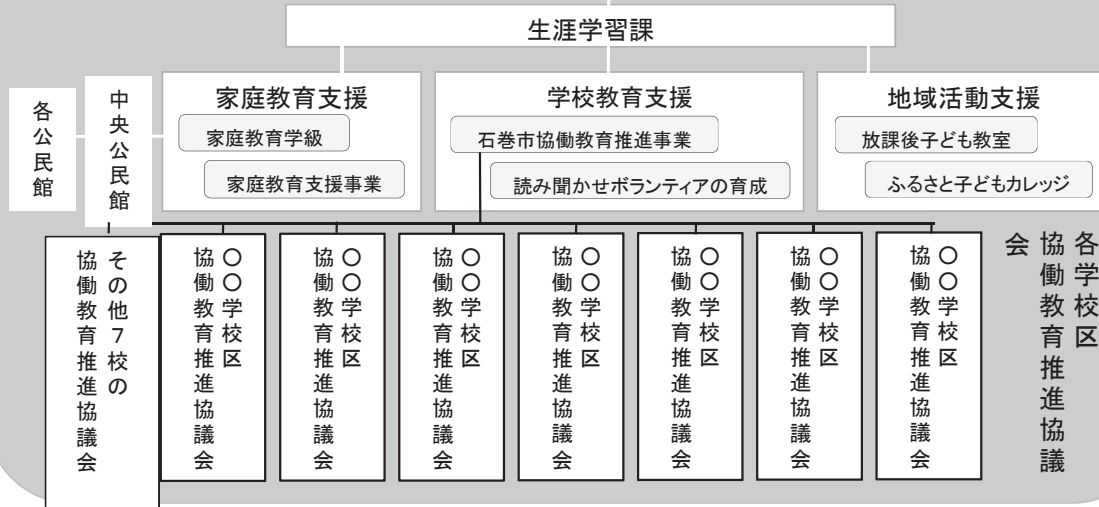
- ・10月から2月にかけて協働教育推進事業実施校に事業参観する期間を設け、評価検証の組織である協働教育支援会議の委員や社会教育員, 学校支援地域コーディネーター等に各校の取組みを見ていただくことで、協働教育の推進状況を把握するようにしている。
- ・地域活動では体験学習の他に市内ジュニア・リーダー(以下JL)を活用し、小学生との交流活動も行っており、JLの活動機会の創出にもつながっている。
- ・放課後子ども教室は、コーディネーターを中心にプログラム作成、運営を行うことで地域住民が主体となって実施できるようにしている。

行政の支援や取組

- ・協働教育推進のための情報提供(各種講師の紹介, 活動内容の事例紹介)
- ・研修会の実施(協働教育コーディネーター研修会, 学校支援地域コーディネーター研修会など)
- ・企画, 運営, 組織づくりなどの支援
- ・マスコミなどへの情報提供
- ・活動時訪問による活動支援(事前計画への支援, 活動中の支援など)

石巻市地域学校協働本部(石巻の未来を育てるネットワーク)(案)

石巻市協働教育支援会議(評価・検証委員会)



特色ある活動事例

【事業名】ふるさと子どもカレッジ

【事業内容】石巻の自然、産業、歴史等の素材を資源として様々な体験活動を通じて、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。地域の教育力と郷土の自然、文化、企業等を活用し、子供たちに体験的に学ばせることにより、豊かな心を育む教育活動を推進する。市内小学5・6年生を対象に参加者を募集し、今年度は35名で実施している。石巻の各地区での活動を全8回予定している。

- 第1回 雄勝地区 6月16日(土)
 - ・開校式 ・雄勝ローズファクトリーガーデン見学 ・硯石クラフト製作
- 第2回 東松島地区 7月23日(月)
 - ・石巻青果花き地方卸売市場見学 ・航空自衛隊松島基地見学
- 第3回 桃生地区 8月4日(土) ・川遊び体験(北上川川下り, 流しソーメン)
- 第4回 河北地区 9月8日(土) ・陶芸教室(三輪田窯)
- 第5回 河南地区 10月27日(土) ・昔遊び体験 ・星空観察
- 第6回 牡鹿地区 11月17日(土)
 - ・御番所公園展望台見学・ほっとまる(牡鹿交流センター) 見学
- 第7回 河北地区 12月15日(土)
 - ・北上川の歴史について(施設見学:北上川下流寡占事務所, 北上大堰, 飯野川 可動堰他)
- 第8回 北上地区 1月26日(土)
 - ・神割崎、釣石神社見学 ・石巻・川のビジターセンター見学 ・開校式



第3回(桃生地区) 8月4日(土)
いかだでの川下り体験の様子



第6回(牡鹿地区) 11月17日(土)
牡蠣むき見学の様子

活動の成果

- ・協働教育推進事業を通して、子供も大人も地域防災や郷土芸能、地場産業などの理解を深めることができた。また、実施していない学区への協働教育のモデルにもなり、市内の各小中学校における協働教育推進機運の高まりにもつながった。そのことは子どもの感想文等から窺い知ることができる。
- ・ふるさと子どもカレッジでは、石巻の各地域にある豊かな自然、産業、歴史等の資源について、普段自ら訪れることのない場所で見聞きし、体験することにより、郷土に対する理解を深める貴重な機会となった。
- ・放課後子ども教室では、地域の人々が子どもたちの教育活動に協力を惜しまず、共に放課後子ども教室に参画することを楽しみ、地域教育力の向上にも役立っている。

今後の活動に向けて

- ・協働教育推進協議会の自主運営、学校支援地域コーディネーターの人材の発掘・育成と配置の強化を課題として取り組んでいく。また、各学校の地域連携担当職員の協働教育を推進する意識を高めるよう、各研修会の内容の工夫や情報提供を行っていく。

これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
東松島市		-			-						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
-		-		-	-						
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
0人		0人	0人	0人	11人	0人					
活動目標		-									
【連絡先】		所在地		電話番号	FAX番号						
		〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36-1		0225-82-1111	0225-82-4158						
協力企業・団体・大学・NPO等			E-mail	syogai@city.higashimatsushima.miyagi.jp							
地域おこし協力隊、東松島市レクリエーション協会、あんでなしよっぶまちんど、漁業関係者、伝統芸能団体、等 20団体程度			URL	https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/							
東松島市町村の概要											
人口	40,121人	割合	65歳以上	28.4%	面積	101.36km ²	学校数	幼・保・こ	17園	産業等	農業、水産業、製造業、加工業、小売業、観光
			15～64歳	58.9%				小学校	8校		
			0～14歳	12.7%				中学校	3校		

これまでの経過

- 平成30年中に全ての小中学校でコミュニティ・スクールの導入が完了し、それぞれの学校で学習支援ボランティアや登下校見守りボランティア等を募集し支援を開始している。学校によってはボランティアの中にコーディネーター的な立場となって活動に協力してくれる方も出てきている。
- 平成28年に矢本西小・大曲小、平成29年に宮野森小学校で放課後子ども教室をスタートさせ、現在コーディネーター2名・ボランティア32名と、地域の方の参画を得ながら様々な交流活動を実施している。

地域学校協働活動

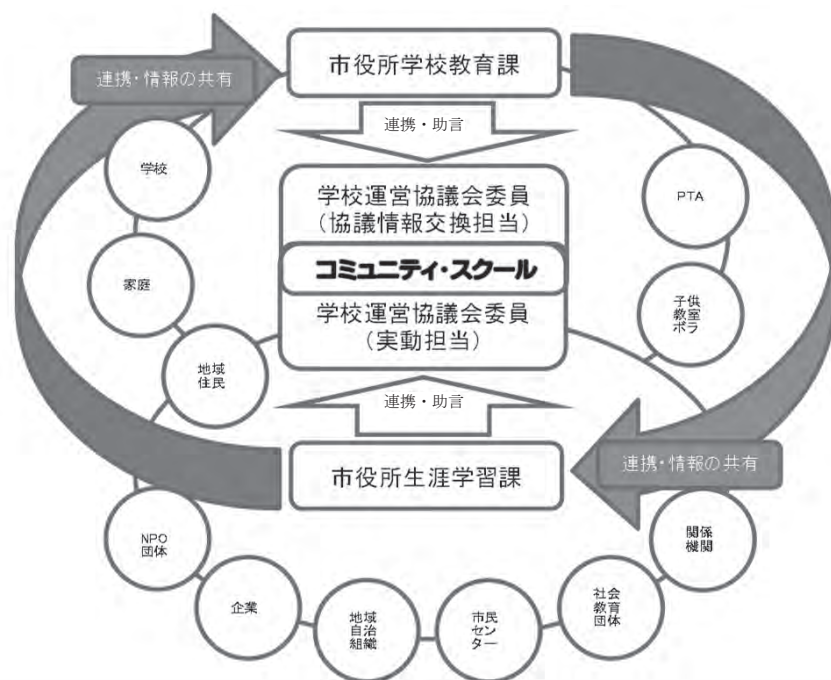
●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
安全見守り、学習支援活動、読み聞かせ、学校行事支援、環境整備、職場体験、世代間交流、あいさつ運動、伝統文化伝承、農・水産業体験活動 その他	すこやか学級 ・子育て講座 ・食育講座 ・健康講座 ・移動研修 等	・ふるさと教室 ・イン・リーダー研修会 ・旧鳴瀬町歴史探訪 ・地場産業体験活動 ・親子交流 等	東松島市放課後子ども教室(矢本西小46名、大曲小48名、宮野森小28名) ・科学実験 ・伝統芸能 ・ニュースポーツ・地域ボランティア企画 等

工夫している点

- ふるさと教室では、体験活動のねらいを明確にさせるとともに、未来の自分、東松島市の姿を想像する時間を設定して取り組んでいる。
- 市民センターに足を運ぶ回数を増やし、事業に関する相談をこまめに行ったり、市で考えている方向性を示したりしながら情報共有をしている。

行政の支援や取組

- 市内各市民センターへの地位学校協働活動に関する意向伝達及び情報共有
平成33年度へ向けた、地域学校協働活動の方向性を伝えるとともに、31年度・32年度より方向転換ができる事業の合同検討会の実施。
- 地域コーディネーター養成講座の実施に向けての調整
東松島市内の協働教育活動に関わる方を対象とした年間10回程度の地域コーディネーター養成講座の実施をめざし、講師の先生と連絡調整を進めている。



特色ある活動事例

【ふるさと教室(のりすき・かきむき体験)】

・自分たちの生まれ育ったふるさと東松島市のよさや魅力に触れるとともに、郷土を愛し、大切にしようとする心を育むことを目的とした『ふるさと教室』を実施。

本市のならではの体験の一つである「のりすき」「かきむき」の体験活動を市内全ての小学校4年生を対象に行っており、地元の特産品への興味関心を高める貴重な機会となっている。また、松島自然の家との共催という点からも東松島市の地域施設の有効活用を図っている。



カキに傷をつけまいと真剣にむく児童

【あかいいっこカンパニー】

・協働のまちづくりの推進を担っている市民センターを中心として、それぞれの地域の特色ある協働教育事業の実施。

子供たちが作った復興まちづくり計画に基づき、子供たちが主体となり「あかいいっこカンパニー」を運営し、地元野菜の美味しさを伝えるための活動をしたり、世代を超えた交流ができる場づくりに取り組んだり東日本大震災からの心の復興を目指している。



子ども朝市で接客する子供たち

活動の成果

- ・自分たちが生まれ育った「ふるさと」の良さ（地域資源・地域人材）を知ることができたとともに、その良さを自分たちで広め、これからも残していこうという意欲が芽生えてきている。
- ・多くの地域の方々の協力をいただいたり、豊富な地域資源を活用したりすることで、子供たちに「わかる」「できる・できた」などの成功体験できる場、いろいろな人とコミュニケーションを取りながら自ら学べる場となっている。
- ・世代を超えたつながりや新たな人とのつながりが増え、子供たちが将来活躍するステージとした協働活動とできるよう計画が立てられるようになっている。

今後の活動に向けて

- ・SDGsの考えを基に、「人間力重視」「可能性の伸長」に課題を置き、将来を担う児童・生徒を地域で育てる持続可能な地域学校協働活動として展開していく。
- ・家庭・地域・学校・行政の4者の連携に「子供たち」を加えた、5者が連携した「地域づくり」「人づくり」を目指していく。
- ・東松島市で導入したコミュニティ・スクールとの融合を目指し、地域コーディネーターの養成を図り各校に配置できるようにする。

これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
女川町		-			-						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
-		女川町教育委員会生涯学習課		-	-						
統括的な地域学校協働活動推進員数	統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数						
0人	0人	0人	0人	2人	26人						
活動目標	-										
【連絡先】		所在地		電話番号	FAX番号						
		〒986-2261 牡鹿郡女川町女川浜字女川178番地 KK-8街区1画地		0225-54-3131	0225-54-4646						
協力企業・団体・大学・NPO等			E-mail	gakushu2@town.onagawa.lg.jp							
女川町社会福祉協議会, NPO法人女川ネイチャーガイド協会, 女川みらい創造, 轟会, 江島法印神楽保存会ほか, 計19団体			URL	www.town.onagawa.miyagi.jp							
〇〇市町村の概要											
人口	6,500人	割合	65歳以上	38.6%	面積	65.35km ²	学校数	幼・保・こ	2園	産業等	漁業, 養殖業, 水産加工業, 観光業, 電気業
			15~64歳	53.2%				小学校	1校		
			0~14歳	8.2%				中学校	1校		

これまでの経過

- ・平成24年度より協働教育プラットフォーム事業を開始した。
- ・主な支援内容は、学校への講師派遣、家庭教育学級の開催、体験活動、創作活動の実施等となっている。
- ・行政担当者（主に社会教育主事）がコーディネーター役となって連絡調整を行っている。
- ・平成29年度より放課後子ども教室を開始した。

地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
学校講師派遣, 学社融合事業「潮活動」, 防災学習, 職場体験, キャリア教育, 食育, 自然体験, 世代間交流, 伝統文化の継承	家庭教育学級(幼児期, 小学校, 中学校, 父親, 未就学児), おかあさん学級, 親子アドベンチャークラブ	イン・リーダー研修会, 親子もちつき大会, 体験活動, 創作活動, 書き初め, スポーツ体験, 調理体験, 遊び体験	「放課後子ども教室」35人(スポーツ, 昔の遊び, 映画鑑賞, レクリエーション, ダンス, 英語, 読み聞かせ, 科学実験等)

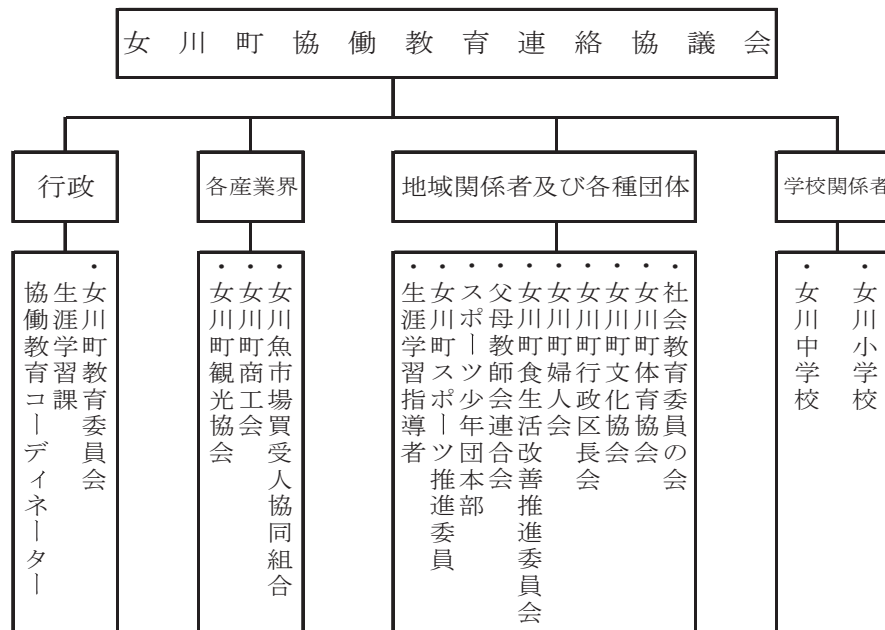
工夫している点

- ・「学校講師派遣事業」では、「人材バンク」を作成して小学校担任に配付している。「人材バンク」は、学習に協力できる講師の名前, 学年, 時期, 単元名等が記載された一覧表であり、随時更新している。
- ・女川町社会福祉協議会と連携し、学校の防災学習の推進を図っている。

行政の支援や取組

- ・社会教育主事や社会教育指導員が中心となって事業の推進を図っている。また、地域連携担当教員との連携を密にし、2020年8月から始まる施設一体型の小中一貫教育に向けて、充実した協働教育が実践できるように、指導計画の作成に関する支援を行っている。

組織体制のイメージ図（既存の組織）



特色ある活動事例

・学社融合事業「潮活動」は、様々な分野に精通している町内（もしくは近隣の地域）在住の方を講師に迎え、技術や知識、歴史等を女川中学校の生徒に教えるものである。今年度は9講座を設け、6月～10月に5回実施した。平成8年度から実施・継続されてきた取組であり、今年度で22年目を迎えた（平成23年度は東日本大震災のため実施していない）。また、今年度は「江島法印神楽」の講座に、女川小学校の4年生も参加して練習に取り組んだ。小中一貫教育における合同学習のひとつとして実施した。練習の成果は、文化祭や学芸会で披露した。伝統文化を継承するという意味でも、大変有意義な取組となっている。



「江島法印神楽」の練習風景

・「親子アドベンチャークラブ」は、保育所年長児から小学生までを対象とした事業で、年3回実施している。「保護者同士の交流を図ること」「女川町の自然と触れ合うこと」を主なねらいとして、野外調理や沢登り、カヌー等を行っている。今年度は新しい試みとして離島へ行き「出島探検」を実施した。初めて船に乗る子供も多く、喜ぶ姿が印象的だった。また、保護者も海の水の透明度や美しい島の景色に感動しており、「また来たい」と話していた。



初めての「出島探検」

活動の成果

・「学校講師派遣事業」では、平成28年度には6件だった派遣依頼が、平成30年度は20件を超えている。講師及びボランティア数も、2年前の10人から50人以上に増加している。「人材バンク」の活用が定着してきたことが要因として挙げられる。協働教育の実施により体験活動を充実させることができ、防災・志・健康に関わる学習への意欲を高めることができた。

・「放課後子ども教室」は、昨年度6回実施したが、今年度は回数を増やして11回の実施を予定している（1月までで10回実施済み）。昔の遊び、映画鑑賞、英語、科学実験等、新たな内容も多く取り入れることができた。

今後の活動に向けて

・事業を通して参加者が「学びのきっかけ」を得られるようにしたいと考えている。そのために、「体験し」「興味をもち」「交流し」「情報を共有し」「知識を得る」ことができるような事業を展開していきたい。

・講師やボランティアとして関わっていただく方々の「生きがい」につなげられるように、事業を計画・運営していきたい。「是非子供たちと活動したい」「自分にできることを生かして、誰かの役に立ちたい」という思いをもつ町民も多いので、積極的に情報を収集し、地域人材の発掘に努めたい。

これから着手する予定

市町村名		推進組織名			関係学校名						
登米市		—			中学校10校, 小学校22校						
		設立年度	教育委員会・担当課		関係学校学級数	児童生徒数					
		H23	登米市教育委員会生涯学習課		296学級	5,862人					
統括的な地域学校協働活動推進員数		統括的なコーディネーター数	地域学校協働活動推進員数	コーディネーター数	地域連携担当数	登録ボランティア数					
—		1人	—	9人	32人	486人					
活動目標		—									
【連絡先】		所在地			電話番号	FAX番号					
		〒987-0602 登米市中田町上沼字西桜場18番地			0220-34-2698	0220-34-2504					
協力企業・団体・大学・NPO等				E-mail	—						
—				URL	—						
〇〇市町村の概要											
人口	79,848人	割合	65歳以上	31.0%	面積	536.12km ²	学校数	幼・保・こ	17園	産業等	農業, 林業, 製造業, 建設業, 鉱業, 卸売・小売業, サービス業, 運輸業
			15~64歳	57.1%				小学校	22校		
			0~14歳	11.9%				中学校	10校		

これまでの経過

- ・H17.4に9町合併し登米市へ。
- ・H23年から9町毎に地区コーディネーターを配置し, 教育委員会生涯学習課に総括コーディネーターを配置。学校支援活動を中心としたキャリア教育をスタートした。
- ・市内10小学校で放課後子ども教室を開催。各教室毎に1名のコーディネーターを配置している。

地域学校協働活動

●学校支援活動	●家庭教育支援活動	●地域活動	●放課後子ども教室
学習活動支援, 部活動指導・補助, 登下校安全確保及び校外学習時の安全見守り, 学校行事への協力, 技術指導, 図書整備, 読み聞かせ, 職場体験, キャリアセミナー, 地域学習支援, 環境整備, 世代間交流, その他	子育てサポーター派遣事業・家庭教育支援チームを設立し, 市内幼稚園保育園での親の学び研修会事業を開始	—	市内10小学校で放課後子ども教室を開催。(毎日開催6校, 定期開催4校) 登録児童数380人

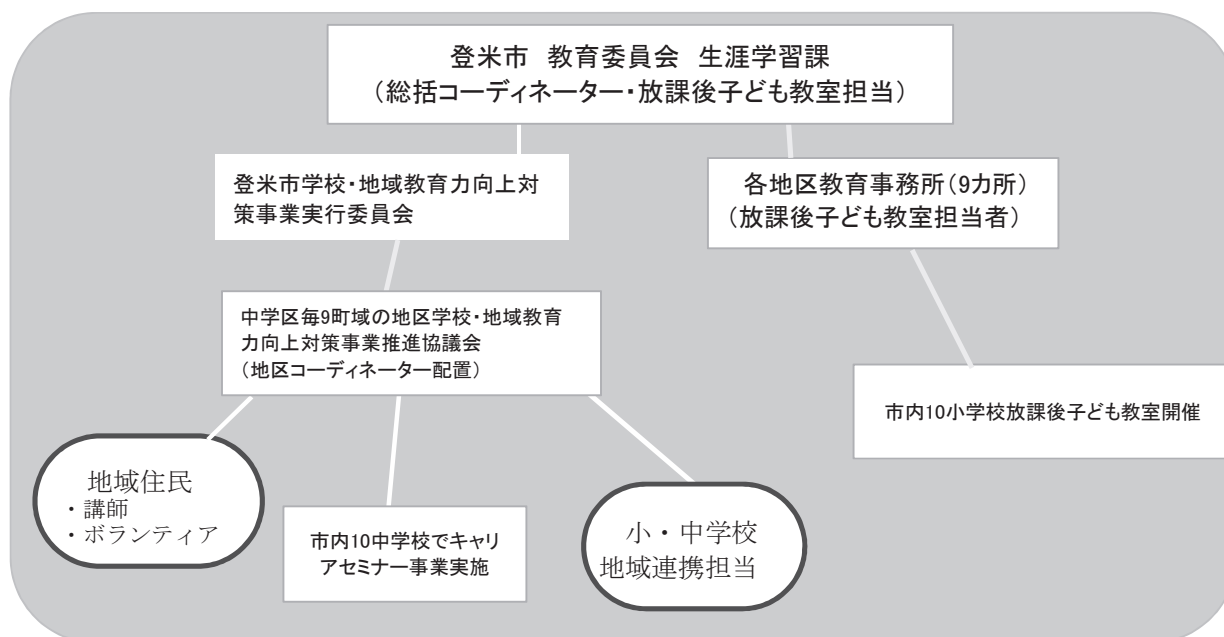
工夫している点

- ・ボランティアの募集については, チラシだけではなく地域の公民館や行政区長等, 地域の機関・団体等との連携と人脈を活用し, 学校現場にマッチした人材確保に努めている。
- ・キャリアセミナーについてはコーディネーター同士のネットワークと個々の人脈を通して講師の選定やセミナー運営に当たっている。

行政の支援や取組

- ・放課後子ども教室運営スタッフの委嘱と運営補助。
- ・学校協働・地域教育力向上対策事業の運営と補助。

組織体制のイメージ図（既存の組織）



特色ある活動事例

- ・年に1回市内のボランティアと地域連携担当教諭の研修交流会を実施している。スキルアップの研修後、ボランティアを行う上で気をつけていることや取り組みの内容などを話し合う他、地域連携担当教諭との交流を図っている。
- ・市内の中学校で、キャリア教育を開催している。生徒から事前に興味のある職業のアンケート調査を実施し、ニーズの高い講師を派遣し話を聞くことで、将来の職業選択の一助としている。



ボランティア・地域連携担当教諭研修会



キャリア教育セミナー(消防士)

活動の成果

- ・ボランティア活動で学校に協力することで、地域で子育てをするという意識が強くなったという声や街中で生徒から声を掛けられる事が多くなり、ボランティアのやりがいを感じるという意見がある。
- ・生徒のアンケート結果では、キャリア教育で興味のある職業について具体的な話を聞くことによって、より深く将来のことを考えるようになったという意見が多かった。

今後の活動に向けて

- ・ボランティアの高齢化が進み、人材不足が課題となっている。今後は、学校のニーズと地域ボランティアのマッチングを情報交換しながら行っていく。
- ・見守りが主な活動となっている放課後子ども教室を、子供たちに多種多様な体験活動の機会を提供するという本来の目的に沿った運営に変更する。